

東京国立近代美術館

(MAP
&
GUIDE)



The National Museum of Modern Art, Tokyo

NMAM



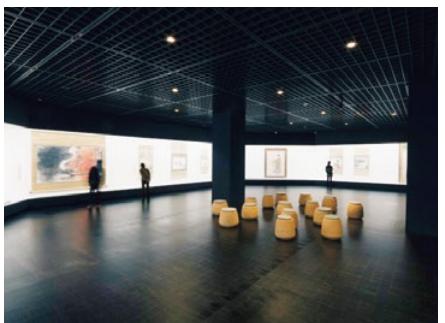
東京国立近代美術館について

東京国立近代美術館(千代田区、The National Museum of Modern Art, Tokyo)は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館です。

最大の特徴は、横山大観、菱田春草、岸田劉生らの重要な文化財を含む13,000点超の国内最大級のコレクション。その選りすぐりの作品をお見せする所蔵作品展「MOMATコレクション」は、100年を超える近代日本美術の歴史を一気にご覧いただける、国内唯一の展示です。

また、対話による鑑賞プログラム「所蔵品ガイド」や、年に数回、様々なテーマに基づいて国内外の美術作品を紹介する企画展(企画展ギャラリー、1階)、さらに展望休憩室「眺めのよい部屋」からの眺望も見逃せません。

周辺には皇居、北の丸公園、千鳥ヶ淵など、日本文化や、自然豊かな環境が広がっており、美術館と併せた散策もおすすめです。





上:川合玉堂《行く春》1916年 重要文化財
下(左から):岸田劉生《麗子肖像(麗子五歳之像)》1918年／藤田嗣治《五人の裸婦》1923年©Fondation Foujita/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021
E4433／パウル・クレー《花ひらく木をめぐる抽象》1925年

所蔵作品展

「MOMATコレクション」について

13,000点を超える充実のコレクションは、川合玉堂《行く春》といった重要文化財や、岸田劉生《麗子肖像(麗子五歳之像)》や藤田嗣治《五人の裸婦》などおなじみの名作を中心に、日本画、洋画、彫刻、写真、映像など多彩な作品を有します。

4-2階にわたる所蔵品ギャラリーでは、所蔵作品展「MOMATコレクション」として、そのコレクションから会期ごとに選りすぐりの約200点を展示。影響を受けた海外の作品を交えながら、明治から現代までの日本美術の流れをご紹介します。

企画展について

1階の企画展ギャラリーでは、幅広い時代やジャンル、著名な作家の個展など時代や社会のエッセンスを取り入れた企画展を年3回ほど開催しています。

所蔵作品展では個人的な記録に限り、写真撮影もOK。ギャラリー入口にあるルールを確認したら、美術館の思い出に、自分らしい一枚を撮影してみては。

「所蔵品ガイド」(日本語のみ)は、ガイドスタッフが参加者同士の対話から深く作品を掘り下げていくプログラム。まるで謎解きのような体験は、作品の魅力を発見いただける機会になるはずです。開催日などはウェブサイトをご覧ください。



施設・サービス



最上階(4階)に位置する「眺めのよい部屋」という名の展望休憩室。その大きな窓からは皇居の緑や丸の内のビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。



金曜・土曜は夜8時まで開館(※変更の場合もあり)。
お仕事帰りなどライフスタイルに応じてお楽しみいただけます。



フレンチの三國清三シェフがプロデュースした本格レストラン「ラー・エ・ミクニ」を併設しているほか、オリジナルグッズをお求めいただけるミュージアムショップや、アートライブラリもご利用いただけます。

Visit

【開館時間】10:00-17:00(金曜・土曜は20:00まで)

入館は閉館30分前まで

【休館日】月曜日(祝休日は開館、翌平日休館)、展示替期間、年末年始

【観覧料】所蔵作品展:一般 500(400)円／大学生 250(200)円

*17時以降の入館は 一般 300円／大学生 150円

()内は20名以上の団体料金。高校生以下および18歳未満、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名)は無料。

*企画展の観覧料はその都度別に定めます。

【アクセス】東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩3分

【住所】〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

【ウェブサイト】www.momat.go.jp

【お問い合わせ先】ハローダイヤル 050-5541-8600(日本から)
+81-47-316-2772(海外から)



編集:東京国立近代美術館、アート・ディレクション/デザイン:田部井美奈、表紙写真:白川青史、イラストレーション:阿部伸二、発行:東京国立近代美術館

©2022 東京国立近代美術館 ※本内容は2022年3月現在のものです